

2024国際教養科 NEWS 11月

EU があなたの学校へやってくる(10/31)

駐日欧州連合(EU)代表部(のピーター・ファティルニグ公使参事官が31日、本校国際教養科1年生と2年生を対象に、通訳を一切介さず、オールイングリッシュで、講演とワークショップを行っていただきました。講演では、EUの歴史や現状、特徴について語っていただきました。ワークショップでは、仮想の問題提起に企業側、消費者、それを判断する側の3者の立場から、どのように対応すべきかの議論を行いました。

現在27カ国が加盟するEUの人口は約4億5千万人と紹介。加盟国内では、パスポート無しで、自由に越境できることや単一通貨ユーロが広く使われていることを解説いただきました。

ワークショップでは、どの大学で学びたいかの質問が出され、それに対して、挙手して英語で積極的に解答する生徒には、持参のEUのTシャツが配布されました。ファティルニグ氏の故郷であるオーストラリアの大学は、入学金も授業料もまったく無料であり、多くの日本人学生が留学して学問をしてほしいとも語りました。それ以降のクイズセッションにも多くのEUグッズが生徒たちに give away 手渡されました。

後半の問題提起のワークショップでは、現行で2種類あるスマートフォンのコードの規格統一について議論喚起を行っていただきました。生徒たちを企業側、消費者と、そのいずれにも属さないグループの3つに分け、規格を一本に統一すべきか、また現行のまま2本に残すかの択一で、どちらにベネフィット(利益)があるかという命題でグループ討論を行いました。企業グループと消費者グループの結論を聞いた第3グループが、最終的にどちらの議論が勝っているかの判断をしてもらいました。環境に配慮して規格を一本化する消費者サイドが、環境面からみて最適解であるとの結論が述べられ、ファティルニグ氏も大いに納得している様子でした。

このように、英語を使って多くの論題に取り組むことは大変意義ある活動であり、多くの生徒が、苦勞しながらも自分の英語で、意見を述べる機会を設けていただいたことは大変価値ある行事であったと思います。



お土産に EU ダルマをいただきました。 ファティルニグ公使参事官よりオールイングリッシュにての講演



公使参事官よりアドバイスをいただく1年生



まとめの議論を発表する2年生

善光寺ガイド研修（10/17）

10月17日（木）に、国際教養科1年生を対象として善光寺ガイド研修を実施しました。講師として増尾はる子さん、中島信子さん（長野市在住 全国通訳案内士）をお招きし、善光寺の英語ガイドの実地研修を行いました。生徒たちは、実際に自分たちでガイドをする時のことをイメージしながら熱心に取り組んでいました。感想からは、毎日のように目にする善光寺について新たな発見があったこと、また自分たちの文化に対する捉え方が変わったこと等が窺えます。

今後、12月に予定される台湾からの高校生の学校訪問の機会もあり、実際に他国の生徒等を相手に善光寺ガイドを実践する回数も増えそうです。



ワールドフェスタ in 長野に出展(11/2)



11月2日(土)に長野市のセントラルスクウェアにて行われた「ワールドフェスタ in 長野 2024」において、国際教養科1年生がブースを出展しました。台風が近づき、終日大雨の天気の中でしたが、「クイズで世界を知ろう」「ワールド輪投げ」等のアトラクションを行い、インバウンドツアーで海外からのお客さん相手に英語で話しかけ、直接コミュニケーションをとる貴重な機会となりました。あまりに雨が強くなってきたため、例年より早くイベントを終了しましたが、参加の生徒たちは、大雨という困難な状況下でも元気に活動が

きたことは、特筆すべきことと思います。

長野県高校生英語スピーチ大会にて準優勝

長野県中国語スピーチ大会で1位から3位まで本校生徒が受賞

11月9日 清泉女学院大学・清泉女学院短期大学長野県高等学校主催の第19回長野県高校生 英語スピーチ・レシテーション コンテストにて、国際教養科2年生の生徒が2名出場し、うち1名がレシテーションの部で準優勝を獲得しました。大会に向けて、ALTのVikki先生からコーチングをいただき、発音や抑揚など英語の伝わり方(Delivery)がかなり高いレベルに上がりました。

10月6日、長野県日中友好協会主催の長野県中国語スピーチコンテストで、2年生の小淵洋子さんが優勝、和田雪花さんが準優勝、堀口瑞姫さんが三位入賞に輝きました。3名とも2カ月以上にわたり、本校の中国語の先生方から個別にトレーニングを受け、中国語の発信力の向上に大いに努力してきました。

その努力が入賞というかたちで、結晶したことは意義深いことです。

韓国ソウル高校生とのオンライン交流

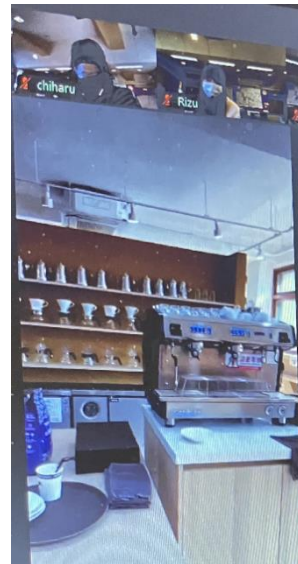
11月8日 2年国際教養科の韓国語選択者16名が、韓国ソウルの海成高校の皆さんと、本年度2回目のオンライン交流を行いました。

本校生徒は、学校生活、イギリス海外語学研修、修学旅行などの活動をプレゼンソフトを用いて説明しました。ソウル海成高校の生徒は、スマートフォンを持ちながら、学校内の施設や授業の案内をライブで行いました。当校では、旅客機のキャビンアテンダントや、バリスタのトレーニングをする教室を紹介いただき、日本の普通の学校との違いに目を丸くしていました。

今後とも、機会があれば、定期的に交流を深めて、文化の交流を図っていく方向です。



旅客機のキャビン実習室とバリスタの練習室



新採 ALT の BEN 先生赴任！



10 月、Heidi 先生の後任として新規採用 ALT のハウレット ベン(Hewlett Ben)先生が本校に就任しました。先生はイングランドの大学を 6 月に卒業し、初めて教壇に立って生徒たちに英語を教えることになりました。先生の若さと情熱が多くの生徒たちのやる気を喚起しています。先生の趣味は、釣りとサッカーということです。軽トラを購入し、信州の大自然で釣りに挑戦したいとのことでした。